

【講演要旨】 平和講座 紛争と内戦、難民を考える

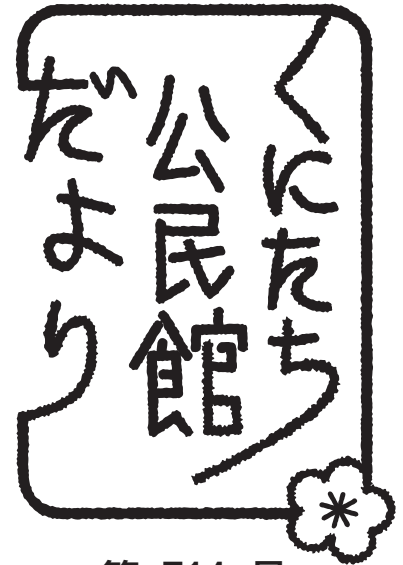
～ロヒンギャ難民はなぜ帰還できないのか～

講師 根本 敬 (上智大学)

6月から「平和について考える連続講座」がスタートしました。平和に関する取り組みや学びを深めるために、昨年度の平和講座の講演要旨を紹介します。ぜひ連続講座にもご参加ください。(2019年2月17日実施)



今日は「ビルマ」と「ミャンマー」を使いますが同じ意味でとってください。そのビルマから軍や警察の弾圧を受けて70万人を超える「ロヒンギャ」が「バングラデシュ」で難民生活を余儀なくされています。普通は難民をどのように帰そうかと当事者たちや国際社会も協力しますが、シリア難民同様に解決の糸口が見えにくい現実があります。



第 714 号

2019年 8月 5日

(令和元年)

「くにくたち公民館だより」

ホームページの QR コード ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

す。

■ロヒンギャ問題

ミャンマーの西部「ラカイン州」北西部に多数居住するロヒンギャが、国境線の川を越えてバングラデシュの最南部「チッタゴン」の南側に脱出しています。

ロヒンギャは自分達の民族名称を認めてほしい、その上でミャンマー連邦の国籍取得を希望しますが、いずれも政府や軍、世論に拒絶されています。ミャンマーは彼らを民族と認めず、バングラデシュからの不法移民集団とみなしています。

■ロヒンギャ民族とは

宗教はイスラーム、言語はロヒンギャ語、言語学的にはベンガル語の様々な方言のうち、チッタゴン方言の1つです。人口は推定110万人、ただし、人口調査をミャン

今月の公民館 (8月、9月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 24日(土) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
「プラネタリウムで星を見よう！」
- 24日(土) 昼* 図書室のつどい
「千利休 一切腹と晩年の真実」
- 25日(日)～朝 好きの交差点 ふるまい0円市
- 31日(土) 昼 パラスポーツ講座
- 9日1日(日) 昼 平和について考える連続講座④
「音楽からみつめる希望」
～スラムから聴こえる小さな音楽家達の豊かな響き～
- 8日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
「敬老の日、アート絵はがきを
作って送ろう！」
- 15日(日) 昼* 認知症とともに生きる
治さなくてよい認知症

マー側が拒否しているので推計値です。

ロヒンギャは4つの層から成り立ち、民族的出自はインドのベンガル地方です。集団の起源は600年ほど前のミャンマーのラカイン地方「アラカン王国」に住むムスリム(イスラーム教徒)でした。王国は15世紀から18世紀まで350年間続いた仏教王朝でしたが、代々の国王はインド貿易のためイスラーム名も名乗り、国内ではムスリムも官職につき、一定数のムスリムが居住していました。これが第1層です。

スガ侵略し、ラカイン地方での植民地経営において労働力が求められたため、大量のベンガル人が居住して定住しました。これが第2層です。

第3層は、アジア太平洋戦争期を経て、1948年のビルマ独立後に、東パキスタンの食糧不足に耐え切れなかったムスリムが独立したばかりのビルマのラカインに移住し定住した人々です。

その2年後、1950年にビルマの首相がラカイン北西部の視察時に「ロヒンギャ兄弟団」を名乗る集団代表と交わした歴史資料が残っています。

王国はその後ビルマ王国に滅ぼされ、さらに1824年にイギリ

第4層は、1971年ビルマ独

立23年目に生じた第三次インド・パキスタン戦争によって流入した人々です。東パキスタンから大量の難民が西パキスタンやインドに逃れたほか、川を南下した難民がミャンマーのラカイン州に多数流入しました。

この4つの層を基盤にロヒンギャは構成されています。

■政権のロヒンギャ対応

独立後のビルマは日本と同じ議会制民主主義でした。ラカイン北西部からはムスリム議員2名が選出され、ロヒンギャ語ラジオ放送も認められています。政権はロヒンギャ隔離や民族の否定をしませんでした。

しかし、多党制議会と民主主義は根付かなく不安定で、その隙を突いて1962年に国軍がクーデターを起こし、軍の支配によるビルマの政権が樹立しました。

軍による中央集権政権体制は少数民族の権利を奪い取りました。軍人が政権を牛耳った結果、多数派のビルマ民族の中心主義となります。特にロヒンギャへの対応が急速に悪化します。ロヒンギャは「第二次世界大戦後の混乱期に入ってきた不法移民」という言説が起り、古くから居住していた人々に対してもイギリス植民地期の

ベンガル人で不法移民だから出ていけという排斥の行動をとりました。

ナシヨナリズムの特徴は国を問いません。アメリカが先住民や黒人を差別したことと似ています。

日本のアイヌや沖縄の人々への対応とも似ています。多くの過去を忘れさせ、ある一点だけを強調し、自分たちの一体性とともに、他を排斥する理論を強調します。排斥理由がまるで千年も二千年も前から話のように、今のミャンマー国民は理解しています。

■国籍法の改正

1982年に国籍法(以下法)が改正され、1823年以前に住する民族の子孫のみが「土着民族」で「正規の国民」として国籍が与えられるというふうに変更されました。

1823年は第一次のイギリスとミャンマーとの戦争の前年で、これをもってミャンマーに外国人が流入したとみなすわけです。数世代にわたり居住して国籍がほしい外国人は個別審査となります。不十分と判断すると「準国民」「帰化国民」という下のレベルの国籍を与えられ、差別や不利益が生じます。ロヒンギャはそのどちらでもなく、審査の対象外とされました。

た。この法でロヒンギャは土着民族でなく「準国民」「帰化国民」でさえ与えられないことが合法化されました。法は軍事政権から現在のアウンサンスーチー政権に引き継がれています。

■難民のはじまり

1978年、怯えたロヒンギャが大挙してバングラデシュへ逃れました。日本でも報道されました。2回目は25万人規模の流出で1991年とその翌年です。国連の難民高等弁務官事務所(UNHCR)等の介入でラカイン州の北西部にロヒンギャは戻りますが、建前上の受け入れ理由と現実とは、ずれていました。数世代にわたるラカイン北西部の居住者は戻ってよいとされましたが、証明する書類を見せるように要求されました。難民が書類を持つていないはずがなく帰還できませんでした。すると国際社会の批判を避けるため、政権は臨時国籍証を発行しました。注意

点は臨時国籍証の民族名欄にロヒンギャ記載を認めなかったことです。帰還した後も一定地域に閉じ込めて、外への移動を許可制にして非常に不利な状況での生活を強制しました。21世紀に入っても一部のロヒン

ギャがボートピープルとなって脱出する事件が起きます。ラカイン人仏教徒がロヒンギャ居住地域に放火する事件も生じ、ロヒンギャも抵抗して仏教徒にも犠牲者が出ました。政権は中立を装い仏教徒とロヒンギャの共存は危ないからとロヒンギャだけを隔離します。病院や学校もない国内難民キャンプのような所へ強制的に収容しただけが今日まで支援を続けています。



熱心にお話を聞いて書きとめています

■臨時国籍証の剥奪

今から5年前、31年ぶりに全国規模の人口調査が行われましたが、ロヒンギャは集計されませんでした。政権は調査直前にロヒンギャの臨時国籍証を取り上げ「審査対象中」に切り替えてしまいました。

無国籍となって、さらに2015年にアウンサンスーチーが圧勝した際の総選挙では、選挙権と被選挙権も取り上げられました。

■国民の認識と排斥の理由

現在のミャンマー国民は、第三次インド・パキスタン戦争(バングラデシュ独立戦争)だけをみて、ほんの40〜50年前の不法移民が居座り、ミャンマーの一民族であると主張するのはけしからんという排斥の感情を有しています。アラク王国や第一次イギリス・ミャンマー戦争後にベンガルから来た移住者の記憶がないのです。

また、軍だけが排斥感情を持つのなら、世論とともに変えていく希望はありますが、政府、軍、世論が一体化し、三者一体でロヒンギャを嫌って排斥しています。

その理由の1つは彼らがイスラームを信仰しているからです。仏教国ゆえの他宗教への差別でなく、イスラームへの嫌悪感や一夫多妻制への恐怖です。

2つ目は、人種差別の感情です。肌の色が土着民族よりも黒く、ビルマ語を上手く話せないロヒンギャへの嫌悪です。

最大の理由が3つ目です。バングラデシュからの不法移民のくせに、ロヒンギャなる民族と嘘をつ

いて、土着民族であると勝手に主張しているとみなすのです。

国内リベラル派でアウンサンスーチーを支持する民主化支援者や国際人権団体の人権派でさえ「ロヒンギャがその名前を捨てれば国籍を与えてもいい」としか考えていません。

■アウンサンスーチーの立場

アウンサンスーチーは国家顧問ですが大統領とともに憲法で権限が制限されています。国防、警察、国境管理については軍が全権を握り、ロヒンギャ問題はこの3分野に直結します。問題を解決しようと国家顧問や大統領が頑張っても軍に無視されています。その結果がロヒンギャ追い出しにつながっています。

国際社会の一部は誤解していますが、彼女は何もしていない訳ではありません。国家顧問就任4カ月後に軍の反対を押し切り、コフィ・アナン元国連事務総長を委員長に「ラカイン問題調査委員会」をつくり、1年間調査させました。条件はロヒンギャという言葉は使わないこと。「ラカインのイスラーム・コミュニティ」という表現で前向きな対応を促す報告書が出ました。ネットで読むことができます。委員会のメンバーはムスリ

ム2人、外国人3人を含む合計9人です。第三者性を保証したのは一つの見識です。

■ラカイン問題調査報告書

調査報告の骨子は3つです。1つは、ラカイン西北部に住むムスリムの国内移動の自由を認める。2つ、この地域に一定期間以上住む者には国籍を与える方向で検討する。3つ、国籍法の再検討を行う。

実はこれはアウンサンスーチー個人が考えた解決への道と同じです。2013年に彼女が日本を公式訪問した際に、私も10人程の会合で会う機会がありました。「ロヒンギャ問題についてはどうお考えですか」と質問したら「ラカインのムスリム・コミュニティ」の問題解決には3つのやり方があり、時間がかかるが唯一の解決方法であると答えました。それを彼女が言ってしまうと軍や世論を敵に回してしまうため、コフィ・アナンという国連の重鎮だった人を



委員長に据えて調査してもらい答申してもらった訳です。

■70万人のロヒンギャ難民

ところが、答申翌日に「アラカイン・ロヒンギャ救世軍(ARSA)」というロヒンギャを名乗る武装勢力がラカイン西北部の軍と警察施設を襲撃する事件が発生します。これに軍と警察が過剰反応します。そして一般のロヒンギャ住民を追い出します。武装勢力だけの追い出しならばわかりませんが、何の関係もない住民の住む家に火をつけて追い出しました。さらにラカイン人の民兵が勝手に銃を持ちロヒンギャを殺すことも重なり、大問題となって今日に続いています。

ARSAという武装集団は一般のロヒンギャとは何の関係もありません。パキスタンに移住したロヒンギャの第2、第3世代の若者がイスラム原理主義やイスラム国の論理に染まり、バングラデシュの武器庫を襲った後、ラカイン州のロヒンギャ青年をだまして200人規模の武装組織をつくり暴れ回った集団です。

結果的にミャンマー政府軍と警察に封じ込まれ、自分たちの同胞ロヒンギャ70万人は大規模な難民になってしまいました。難民キャンプでロヒンギャがARSAに同

情する声は聞かれません。

■今後のアウンサンスーチー

現時点の彼女の対応はコフィ・アナン路線に沿って難民の帰還に取り組み、さらに軍と警察によるロヒンギャ迫害の実態調査を別の第三者委員会で行なって、国際社会の逆風を何とか防ごうとしています。

この第三者委員会の正式名称は独立調査委員会といい、4人のうち2人が外国人、1人が日本人の大島元国連大使です。報告はミャンマー軍や警察が何をしたのか記載しなければなりません。報告次第では軍や世論を敵に回し、彼女を支える支持基盤からも激怒されるかもしれません。一方、軍は酷いことはしていない、警察も通常の警察権行使だけだったという報告ならば、今度は日本がミャンマー軍の肩を持ってロヒンギャを見捨てたと国際社会から批判されかねません。

日本は火中の栗を拾いに行ったといえます。大島氏の参加は、アウンサンスーチー自らが日本政府と外務省に依頼してきたようです。日本はロヒンギャ問題ではミャンマー政府を支援し解決していきたい姿勢を見せているので、ミャンマーの要請に応えました。

■問題の解決に向けて

解決には3つの課題に取り組む必要があります。1つ目は、憲法上(軍)の壁と国内世論の壁を取り除くことです。世論が反ロヒンギャである限り軍を説得できません。国民の理解を得る努力が必要です。

2つ目は、国際社会の支援を受けながら難民の保護と帰還を推進することです。国内難民キャンプの廃止にも努め、コフィ・アナン答申を尊重した国内移動の自由や国籍付与を促すことが求められます。

3つ目は、国際社会は彼女を批判しても何も始まらない、彼女を追い込むと辞任や政権崩壊になりかねない、次は軍人そのものの政権になってしまうということを理解することです。国際社会は国民の支持が強い彼女が動きやすい状況をつくり、ミャンマーの特徴を踏まえて支援していくのがベストです。



〈図書室のつどい〉

千利休

—切腹と晩年の真実—

お話 中村 修也 (文教大学)

千利休は豊臣秀吉の茶頭を務め、秀吉の怒りを買って切腹したとされています。しかし、利休の切腹は謎に包まれており、切腹させられた原因について多く論じられてきました。

茶の湯の歴史を研究してきた中村さんは、利休が活躍した当時の歴史的資料を改めて読み解き、実際は追放されただけで、利休は生きていたのではないかという新たな説を提示しています。その結論に至った経緯や、利休と茶の湯との関係についてお話いただきます。

〈中村さんの著書〉

『千利休一切腹と晩年の真実』(朝日新聞出版)、『利休切腹—豊臣政権と茶の湯』(洋泉社)、『戦国茶の湯倶楽部』(大修館書店)ほか

とき 8月24日(土) 昼2時~4時

ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(当日先着順)

*申し込み不要です。ご自由においでください。

〈国立市公民館・NHK学園高等学校共催事業〉

〈子ども・若者の育ちを支え合う地域づくり連続講座〉

好きの交差点 ふるまい0円市

自分の好きなものを屋台にして出展しませんか!?まちの中で、屋台主と道ゆく人との間にコミュニケーションを生む場を作ります。手品やお悩み相談、似顔絵描きや折り紙など必ず自分の好きなものをふるまってください。内容は飲食物と大きな音が出るもの以外であれば構いません。詳しくはお申込みの後に、担当から電話にてご説明させていただきます。

コーディネーター 高野 宏 (地域コーディネーター)

とき 8月25日(日) 朝10時~昼3時 谷保第四公園

9月21日(土) 朝10時~昼3時 一橋学園南門前
空き緑地帯

*どちらか1日だけでも構いません

定員 8名(申込先着順)

協力 くにたち富士見台人間環境キーステーション

申込先 8月13日(火) 朝9時~

公民館 ☎ (572) 5141



「おしゃべり屋台、出展中！」

*雨天時は中止です。(前日までに電話でご連絡します)

〈平和について考える連続講座④〉

音楽からみつめる希望

~スラムから聴こえる小さな音楽家達の豊かな響き~

講師 明石 現 (千葉明德短期大学、ギタリスト)

国連は「平和の文化に関する宣言」で、平和の文化を促進するためには、紛争の平和的解決とともに、教育や対話を通じた生命の尊重の必要があることなどに触れています。

失業者や貧困者が多く、世界で最も治安の悪い国のひとつと言われているベネズエラで生まれた音楽教育プログラム「エル・システム」。どんな子どもたちにも無料で音楽を学ぶ場を提供することで、子どもたちの自信や将来の夢、貧困や犯罪からの脱却に繋がっています。

世界で数少ない11弦ギターの奏者でもある明石さんに「エル・システム」を中心として、音楽教育が人々に与える希望について、演奏も交えてお話いただきます。

とき 9月1日(日) 昼2時~4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(申込先着順)

申込先 8月7日(水) 朝9時~

公民館 ☎ (572) 5141

〈パラスポーツ講座〉

北京パラリンピック代表選手と学ぶ

~「しょうがいしゃ」との共生社会における多様性~

講師 高田 朋枝 (北京パラリンピックゴールボール代表選手、日本パラリンピアンズ協会理事、障害平等研修登録ファシリテーター)

東京2020パラリンピックの開催にあたり「しょうがい」について考える講座を企画しました。

今回の講座では、「しょうがい」ってそもそもなに?という疑問から考え、当事者目線から投げかけられる問いや参加者同士の対話を通じた「発見」を積み重ね、差別や排除など、社会の中にある様々な「しょうがい」について一緒に考え、共生社会について学んでいきます。

*ゴールボールは、パラリンピックの視覚しょうがいしゃの正式種目で、視覚しょうがいのあるなしに関わらず参加できるスポーツです。

とき 8月31日(土) 昼2時~4時

ところ 国立市公民館 地下ホール

定員 30名(申込先着順)

申込先 8月13日(火) 朝9時~

公民館 ☎ (572) 5141



〈親子で遊ぼう・考えよう〉
**敬老の日、アート絵はがき
を作って送ろう!**

クレヨンや絵の具で絵はがきを描きます。ビー玉を転がしたり、ひっかいたりして、親子で楽しく描きます。遊んだ軌跡が作品になります。でき上がった絵はがきを敬老の日に向けておじいさん、おばあさんに送りましょう。

講師 **山田 修平**
(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 9月8日(日)朝10時~12時
ところ 公民館 地下ホール
持ち物 官製はがき2枚(一人につき)、飲み物、ハンドタオル、汚れてもよい服装
対象 子ども(3歳以上~小学生低学年)と保護者
定員 16組(申込先着順)
申込先 8月9日(金)朝9時~
公民館☎(572)5141

*この講座は、さまざまな遊びをとおして子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を通して、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。

公民館では、青年講座として、「初心者山部」を開催しています。この講座は、高校生や大学生、社会人など様々な年代・背景を持った方々が参加し、座学後に参加者で登山計画を立てて、山頂を目指すものになります。私は公民館配属前から、登山を趣味としていました。自分と向き合うことで気持ちを整理することができ、登頂の達成感を何度でも味わうことができます。ただ、様々なメンバーが集

〈公民館の窓〉
百の頂に百の喜びを

「初心者山部」を主催して、この講座は、高校生や大学生、社会人など様々な年代・背景を持った方々が参加し、座学後に参加者で登山計画を立てて、山頂を目指すものになります。私は公民館配属前から、登山を趣味としていました。自分と向き合うことで気持ちを整理することができ、登頂の達成感を何度でも味わうことができます。ただ、様々なメンバーが集

(Y・T)

〈親子で遊ぼう・考えよう〉
**プラネタリウムで
星を見よう!**

桐朋中学・高等学校のプラネタリウムを使って、四季折々の星座のお話をさせていただきます。天気が良ければ大きな天体望遠鏡や、太陽観測の望遠鏡を見学させていただきます。



お話し **上原 隼**(桐朋中学・高等学校教諭)
桐朋中学・高等学校地学部員

とき 8月24日(土)朝10時半~12時ごろ
ところ 桐朋中学・高等学校 教科教室棟(4階)
*入口は北門(桐朋学園通り)です。

用意 上履き、靴袋をお持ちください。(土足厳禁です)
対象 子ども(3歳以上)と保護者
定員 65名(申込先着順)
申込先 8月8日(木)朝9時~
公民館☎(572)5141

〈認知症とともに生きる〉第5回講座
**治さなくてよい認知症
~でも、私たちにできることがある~**

お話し **上田 諭**(東京医療学院大学)

認知症は、長寿に伴う普通の現象であり誰にも起こることで、現段階では根治療法のない(治らない)病です。上田さんは、まずそのことを社会全体が認めることが認知症治療と介護の出発点だとおっしゃいます。そして、認知症の人を「そのままでよい」と中心に据えて、その人の気持ちを皆が理解し、どう向き合ったら互いの生活を生き生きと張り合いのあるものにしていけるかを考えることこそ大事だとも指摘されています。

その実現のために、どんな工夫をしていけるか。本人主体、介護者への支援、地域の力といった視点から、「認知症とともに生きる」意味をもう一步深める機会にしたいと思います。

とき 9月15日(日)昼1時~4時
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)

*申し込みは不要です。ご自由においでください。
*認知症とともに生きる実行委員会との共同企画です。

公民館運営審議会報告

7月9日(火)第32期第9回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名が出席。傍聴3名。

前回議事録確認

報告事項
○公民館だより編集研究委員会
4月取材のサークル訪問は団体と原稿内容の調整ができず不掲載

○社会教育委員の会
生涯学習推進・振興計画の研修
○東京都公民館連絡協議会
委員会研修会を9月7日に、講師・越村康英氏で実施予定。

○社会教育学習会検討委員
格差について学習会企画考慮中。

協議事項
○事業報告・計画、予算・決算
3回目の審議。盛んに質問・議論が行われた。日本語講座関係の3主催講座と市民ボランティア活動の連携に課題ありの問題提起あり。主催講座を5つの柱で進めていることに関して質問あり、館長が他市との違い等を説明。講座参加者のアンケート結果の生かし方について質問あり、など。

○くにたち公民館をまもる会と国立の社会教育の自由を考える市民・研究者の会連名の要望書
1 移管問題について審議を求め要望書(4月9日付)に続いて再度の要望書(4月9日付)に続いて再度の要望書。引き続き協議。

2 公運審と市民の懇親会開催を求める要望書:結論出す次回に継続審議。傍聴されていた方から要望者として発言もいただいた。

次回定例会は8月13日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(富田)

第58回 国立市民体育祭

主催 国立市体育協会
 主管 国立市体育協会加盟団体
 後援 国立市教育委員会
 くにたち文化・スポーツ振興財団

ソフトボール大会

とき 一般男子の部9月1日(日)～10月20日(日)の日曜日、小学生の部9月8日(日)、同予備日9月15日(日)
 ところ 谷保第三公園、処理場上
 部公園
 代表者会議 8月3日(土)
 小学生の部 夜6時、
 一般男子の部 夜7時、
 総合体育館2階会議室
 連絡先 森本090(4597)4062

少年軟式野球大会

とき 9月15日(日)～11月24日(日)の日曜日・祝日
 ところ 処理場上部グラウンド
 一部(小学5・6年生)、二部(小学4年生以下)
 資格 国立市少年野球連盟加盟チーム
 連絡先 稲葉090(2907)8137

秋季ターゲット パードゴルフ大会

とき 9月26日(木)昼12時～3時
 雨天 10月3日(木)
 ところ 谷保第三公園
 資格 国立市T B G協会員、市内在住・在勤・在学者
 参加費 1人500円
 申込締切 9月19日(木)
 申込方法 左記に電話
 連絡先 岡田090(171)0791

剣道大会

とき 9月29日(日)朝9時～
 ところ 総合体育館
 試合 基本の部、小学校低学年(4年以下)、小学校高学年(5年以上)、中学生個人・男子、中学生個人・女子、中学生団体戦(男子5名+補欠)、中学生



市民ゴルフ大会

とき 9月30日(月)(雨天決行)
 ところ 武蔵カントリークラブ
 笹井コース
 資格 市内在住・在勤者・ゴルフ協会が認めた方
 方法 18ホールストロークプレー(新ペリア方式)
 登録費 2千500円。賞品代・通信費・参加賞(申込み時前納)
 プレー費 特別価格1万9千250円
 70歳以上1万5千500円
 募集人員 120名(先着順)
 連絡先 時田(575)1188

スポーツウエルネス吹矢 「くにたち大会」

とき 10月6日(日)昼12時半～4時
 ところ 総合体育館1階
 資格 市内在住・在勤・在学・国立市S W F協会員・国立市カールチャイースクール支部・同好会所属者
 参加費 1人500円
 申込締切 9月25日(水)
 連絡申込先 坂井090(244)9175

バレーボール大会

■女子の部 9人制
 とき 10月14日(月)祝朝9時
 ところ 総合体育館
 抽選会 9月27日(金)夜7時
 総合体育館2階会議室
 資格 連盟加盟チーム及び、市内在住・在勤・在学者(高校生以上)で構成されたチーム
 参加費 加盟チーム2千500円
 未加盟チーム7千円
 連絡先 遠藤(576)7500
 ■男子の部 6人制
 とき 10月27日(日)朝9時
 ところ 総合体育館
 連絡先 佐土原(575)7661
 ※詳細は各連絡先まで



水泳大会

とき 10月27日(日)受付9時
 ところ 総合体育館 室内プール
 資格 市内在住・在勤・在学・在クラブ者
 参加制限 1人2種目以内(ただし、リレー、一般男女400m、チャレンジカップは除く)
 参加費 個人1種目300円、リレーは1チーム千円※小学生は、個人種目…1種目100円、リレー…1チーム400円
 申込方法 9月14日(土)、15日(日)いずれも昼1時半～4時、総合体育館ロビー。小中学生の参加は父母の承諾書が必要(要印鑑)。電話による申込みは受付けません。申込書は総合体育館ロビー。
 連絡先 武政(574)2879(夜)

| | 性別 | 自由形 | | バタフライ | 個人メドレー | メドレーリレー | |
|-------------|----|------------------------------|-----|-------|--------|---------|--|
| | | 平泳ぎ | 背泳ぎ | | | リレー | |
| 小学校1・2年生 | 男女 | 25m | | 100m | 100m | | |
| 小学校3・4年生 | 男女 | 25m | | | 100m | | |
| 小学校5・6年生 | 男女 | 25m | | | 100m | | |
| 中学生 | 男女 | 50m | | 100m | 200m | | |
| 高校生 | 男女 | 50m | | | 200m | | |
| 一般 | 男女 | 25m | | 100m | 100m | | |
| 40歳以上 | 男女 | 25m | | | 100m | | |
| 60歳以上 | 男女 | 25m | | 100m | | | |
| チャレンジカップ | 男女 | 100m | | | | | |
| 一般 | 男女 | 400m | | | | | |
| リレー(160歳以上) | 男女 | *100mリレーは年齢が160歳以上を参加条件とします。 | | | | | |
| リレー(240歳以上) | 男女 | *100mリレーは年齢が240歳以上を参加条件とします。 | | | | | |

陸上競技選手権大会

とき 10月27日(日)朝9時～(雨天決行)
 ところ 一橋大学陸上競技場
 種目 一般男子(12種目) 100・200・400・800・1500・5000・10000m(35歳・39歳・40歳以上)、400mリレー、走幅跳、走高飛、砲丸投。
 一般女子(8種目) 100・200・400・800m、5000m(40歳以上)、400mリレー、走幅跳、走高飛。
 高校男子(9種目) 100・200・400・800・1500・5000m、400mリレー、走幅跳、走高飛。
 1、走幅跳、走高飛。
 中学男子(11種目) 100・200m(学別)、500・3000m、400mリレー、走幅跳、走高飛。
 中学女子(10種目) 100・200m(学別)、800m、400mリレー、走幅跳、走高飛。
 小学生 100m、800m、400mリレー。
 参加制限 リレー除き1人3種目
 女子は一般、高校の区別なし
 資格 市内在住、在勤者
 参加費 一般500円、高校生500円、中学生400円、リレーのみ500円、小学生200円
 受付 郵送のみ 9月7日締切
 連絡先 〒186-0001国立市北2-10-6 関口巳之吉(572) 7454

秋季卓球大会

とき 11月3日(日)朝9時開場
 ところ 総合体育館
 資格 市内在住・在勤・在学・在クラブ・在サークル所属者および連盟登録者
 種目 年代別男女、小学生・中学生・青年・40代・50代・60代・70代・80代・一般男女(年代別重複可)
 参加費 小中学生と60代以上は500円、一般と他の年代別は700円
 申込締切 9月末日
 連絡先 外谷(575) 4722
 月曜休み

杖道大会

とき 11月10日(日)昼1時～3時
 ところ 総合体育館
 資格 国立杖道連盟会員
 見学 可
 連絡先 江角(575) 8574
バドミントン大会
 とき 11月17日(日)朝9時～
 ところ 総合体育館
 資格 市内在住・在勤・在学者
 種目 一般男女ダブルス(一部・二部・三部)
 参加費 1ペア2千円
 申込受付 10月26日(土)夜6時～7時
 連絡先 総合体育館会議室 丹野(576) 8852
 明田(575) 2372

ソフトテニス大会

とき 中学男女 11月24日(日)朝9時、予備日12月1日(日)
 一般及びシニア男女 10月20日(日)朝9時、予備日10月27日(日)
 ところ 広場テニスコート
 試合 ダブルス個人戦
 資格 市内在住・在勤・在学・連盟会員
 参加費 1人500円(中学生無料)
 高校生200円
 受付 中学男女11月10日(日)締切、一般及びシニア男女10月6日(日)締切
 申込先 国立市ソフトテニス連盟
 連絡先 加藤(572) 4728

スキー大会

とき 令和2年2月29日(土)
 ところ 菅平高原天狗ヶレンデ
 種目 大回りと小回りの採点競技
 資格 市内在住・在勤・在学・連盟会員
 参加費 1人千円
 申込 令和2年1月末締切
 連絡先 田中(070) 5456 8291
 国立市スキー・スノーボード連盟



第64回くにたち市民文化祭

～令和元年 輝けくにたち～

今年のテーマは、「令和元年 輝けくにたち」に決まりました。次の催しは、グループやサークルに関係なく、個人で参加ができます。ぜひ、地域の中に広げて、つなげていきませんか。お気軽にご参加ください。

◎くにたち合同いけ花展のお誘い

10月26日(土)、27日(日)に「くにたち合同いけ花展」を開催します。出展を希望される方は、事前打合せ会にご参加ください。

〈事前打合せ会〉

とき 8月27日(火)朝10時～12時
 ところ 公民館 地下ホール



◎総合美術展にご出品ください!

市内在住、在勤、在学(高校生以上)の方なら、どなたでも出品できます。

出品申込 10月19日(土)～10月20日(日)
 受付場所 公民館 3階小集會室
 受付時間 朝10時～夕5時

◆総合美術展開催期間

11月12日(火)～11月17日(日)

◆会場 公民館

*詳しくは市内施設で配布のチラシをご覧ください。

事務局 公民館 ☎(572) 5141



◎第49回 国立市書道展作品募集のお知らせ

国立市書道連盟による「書道展」を以下の日程で開催します。会場は公民館です。

◆期間 11月29日(金)～12月1日(日)

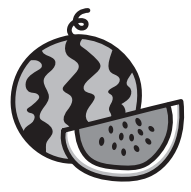
出品の申込み・公募規定等のお問合せは事務局までご連絡ください。

事務局 青柳 ☎(571) 5292

出品申込み締め切り 9月30日(月)



ひろば



国立市空手道連盟会員募集

空手道を通じて、心身を鍛えましょう。六尺棒、ヌンチャク、トンファ、杖、大東流合気柔術、柔道も習得可能。興味ある小学生から熟年迄まずは連絡待ってます！
日時 月、水、金、日 曜夕4時
場所 連盟本部道場
連絡先 佐伯090(748) 4514

数学を楽しむ集い(八月期)

八月は、分子が1の分数に関連したお話や、さまざまな計画を効率的に進める数字の紹介です。きっと数字を身近に感じていただけます。お気軽にお越し下さい。
日時 8月10日・31日(土) 昼1時
場所 公民館 集芸室
連絡先 山本(572) 1028

糖尿病再生医療セミナー

今話題の再生医療による糖尿病治療。インスリンを止めたい方、透析を勧められている方、多様な治療法や最新医療がある事を気軽に一緒に学んでみませんか。
日時 8月30日(金) 夜7時～8時
場所 国立駅前 国立市民プラザ
連絡先 EMS 080(2190) 0810

らくらくスイミング参加者募集

年度シニアスポーツ振興事業。参加費無料。シニア対象です。初心者から泳力別に公認指導員が担当します。気軽にチャレンジしませんか。全6回。(毎週水曜日)
日時 9月4日(土) 朝10時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 堀090(9848) 4678

「ひろば」写真募集中

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。会員募集は6カ月に一回掲載することができますが、紙面の都合により翌月掲載とすることがありますので、ご了承ください。

公民館の外壁工事を実施しています

公民館は、1月15日までの工期で外壁工事を実施しています。大きな音が出る工事は、11月末頃までを予定しています。工事の時間は、日曜日を除く平日及び土曜日、祝日の午前8時から午後6時です。工事期間中の施設利用が不可して、駐輪場の使用等が不可(11月末頃までを予定)となっております。工事音や振動が生じています。公民館の各部屋はご利用いただけますが、会議・講演会等で静かな環境を希望される場合は、他の施設での実施をご検討ください。ご利用の皆様にはご不便をお掛けしておりますが、安心してご利用いただける施設づくりを目指しますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

公民館 ☎ (572) 5141



佇む力ワセミ
撮影 和賀 一さん
(フォトサークルくにたち)

〈サークル訪問334〉フットサルサークル「ソラーナ」

サッカー熱が高まる中、フットサルも近年人気があり、全国大会も開催されています。チームは5人制、ボールの大きさはサッカーボールの少年用、コートのはばはバスケットコートと同じ、独自のルールがありサッカーとは違った形で親しまれています。「ソラーナ」とは陽だまりの意味で温かいサークルを目指しています。会は発足11年目、登録人数は30名程、普段は10～15名が参加、高校生から年長者は56歳と幅が広がります。

練習場所は一般開放の市内公立小学校の体育館で、訪問した日は第六小学校、午後3時に集合してゴールの設置、窓の開放等皆で協力し、ウォーミングアップはバスケの5対5で体を温めます。次は基本のパス回し、当日は男性6名女性4名、そして小学生の息子さんも特別参加、とても和気あいあいと楽しそうに始まりました。コートが狭いため、スピード感とパスの正確性が要求され、近くで見ると激しいパスの応酬で迫力があります。

前半1時間半は基本・チームプ

ゴール前で
激しいパスの応酬→



レーの練習、後半は練習試合。毎月1回練習試合、年3回程大会に参加するそうです。ゲーム練習では入会6カ月の女性の好プレーに拍手がわき、プレーの合間にも笑い声が絶えず、本当にフットサルが楽しいという雰囲気満ちていました。時には撮影した試合の映像をお酒を飲みながら楽しく振り返りをしています。チームの目標は「楽しく!!個人プレーとチーム運動の向上です」と代表の磯さんのお話でした。
メンバー(高校生以上) 募集中!!
日時 毎週日曜日 昼3時～6時
場所 市内小学校・体育館
連絡先 磯080(3258) 6711
〈文・写真 藤澤 和子〉